

Jun. 01, 2006

## 阿武隈流域水循環系健全化に係る福島市・福島大学との意見交換会開催

特別研究経費（地域連携融合事業）の支援に基づき阿武隈流域自治体の1つである福島市



福島市からの参加者



福島大学からの参加者

との意見交換会が5月31日開催された。福島市からは都市計画課、環境課、河川課、下水道建設課、下水道管理センター、水道局企画課に参加していただき、現状と課題について説明をいただいた。その後、課題の内容について意見交換を行った。特に、水源地保全との関係でも住民主体の地域創りが重要で、過疎化、少子化、高齢化社会が進行する中で、水源地をどのように継承して保全・管理していくのかが大きな課題としてあげられた。また、福島市特有の内水被害を克服する課題や、下水道の処理方式、農業集落排水事業の課題、水道事業一元化の課題など改めて流域水循環系健全化に関する課題の広がり、多様さを確認することができた。今回の会

議を出発点に、今後データに基づき具体的な課題をつめつつ、課題解決にむけた研究を推進することになった。なお、阿武隈流域水循環系健全化プロジェクトでは多くの流域自治体との懇談をするとともに、月1回の研究会を公開で実施し、各自治体関係者にも参加していただきながら研究会を開催することにした。またこの日は第1回の研究会として地下水流動に関する新たな成果が柴崎氏によって報告された。